

記録書 No.35

(2015 年 8 月 25 日～2015 年 9 月 24 日)

2015 年 9 月 25 日
乃村研究室 M1
藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) イベントを途中退席する際は，周囲に報告する． [9/14, 106，乃村先生]

1. 実績

1.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

- (A) 参考文献の読解 (50 % , +0 %)
(B) 正常に処理できる通信量の測定 (100 % , +70 %)
(C) バグの再現 (0 % , +0 %)

(2) 開発に関する項目

- (A) 自動ビルドスクリプトの作成 (95 % , +0 %)

- (3) 第 283 回 New 打ち合わせ (8/25)
(4) 第 284 回 New 打ち合わせ (9/8)
(5) 第 25 回 New 開発打ち合わせ (9/17)
(6) 第 285 回 New 打ち合わせ (9/18)

1.2 研究室関連

- (1) 全体ミーティング (8/25)
(2) 乃村研ミーティング (8/31)
(3) 2015 年度香川大学岡山大学合同研究会 (9/7)
(4) 乃村研ミーティング (9/18)

1.3 大学院関連

- (1) 特になし

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1B) 本デバッグ支援環境の動作を確認した．具体的にはデバッグ支援 OS からデバッグ対象 OS へパケットを送信した際のスループットについて測定することで，実際の NIC の性能を再現することに十分な性能を実現できているかを調査した．測定結果は，NIC ドライバで処理できる最大のスループットが 10Gbps であり，デバッグ対象 OS 上で動作する UDP の受信プログラムが処理できる最大のスループットが 7.7Gbps であった．実際の NIC は 2.5Gbps 相当であるため，十分に NIC を再現できる性能を持っていることを示せた．

3. 今後の予定

3.1 研究関連

(1) 研究テーマに関する項目

(A) 参考文献の読解 (10 月中旬)

(B) バグの再現 (10 月上旬)

(2) 開発に関する項目

(A) 自動ビルドスクリプトの作成 (10 月中旬)

(3) 第 286 回 New 打ち合わせ (10/2)

(4) 第 26 回 New 開発打ち合わせ (10/8)

3.2 研究室関連

(1) 全体ミーティング (9/25)

(2) 乃村研究室研修会 (9/29,30)

(3) 乃村研ミーティング (10/9)

3.3 大学院関連

(1) 特になし

3.4 学会情報

(1) 第 135 回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

開催日時：平成 27 年 11 月 24 日 (火)

開催場所：お茶の水女子大学申込締切：平成 27 年 10 月 16 日 (金)

原稿締め切り：平成 27 年 10 月 30 日 (金)